

2013/01/23

<u>わたりグリーンベルトプロジェクト</u> 「熱気球フェス&シンポジウム」ご協力へのお礼およびご報告

2012年12月22日に開催しました「熱気球フェス&シンポジウム」につきまして、多大なるご協力を賜り心より感謝申し上げます。イベント概要につきまして下記の通りご報告申し上げます。

わたりグリーンベルトプロジェクト 熱気球フェス&シンポジウム実行委員会 実行委員長 丸子キヨ子

■ 開催趣旨

宮城県亘理町では、東日本大震災で失われた防潮林を復興するための計画を市民主体で作ってきました。南北4km、東西 1km のエリアに、次の津波から人々を守る強い防潮林を創り上げます。この度、東日本大震災地において、復興を市民主体で進めることができたらとシンポジウムを催し、各地で復興に取り組む仲間達が集い、わたりグリーンベルトプロジェクトを事例に、市民主体の震災復興の具体的手法を考える機会を設けます。同時に、気球 5 機を亘理の子供たちを乗せて空に舞い上げ、皆で亘理と復興地すべての人たちの夢を描きたく思います。

■ 開催概要:

・ 日時 2012年12月22日(土) 07:00~12:00 熱気球フェス(07:00~09:00が熱気球体験搭乗) 10:00~16:00 シンポジウム「市民主体の震災復興とは?」

■ 活動実績

- 熱気球フェス 参加者数 約600名熱気球搭乗体験 約300名ステージ出演団体数 4団体
- ・ シンポジウム 参加者数 約130名
- 熱気球フェス&シンポジウム実行委員 13名(町内)
- 当日ボランティア 91名(町内20名、町外71名)
- 活動支援金の用途(10万円以上のものを掲載):
 - 熱気球搭乗体験費
 - 簡易パンフレット作成/印刷費
 - 告知用ポスターデザイン&印刷費
 - 会場設営用資材購入/レンタル費
 - 絵馬デザイン&絵馬&絵馬かけ費
 - ・ クラウン特別出演料
 - バスレンタル料
 - 苗木育成体験料 + 育成発注費
 - 当日専門家謝金&交通費

■ 来年度の実施に向けて:

2012年12月に開催しました「熱気球フェス&シンポジウム」が大盛況だったため 是非来年度も実施したいと思っております。 その際は、イベント概要につきまして再度ご案内申し上げます。

共催:一般社団法人ふらっと一ほく、特定非営利活動法人熱気球運営機構、NPO法人女子教育奨励会(JKSK) 後援: 亘理町、亘理町教育委員会、(社)グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワーク

熱気球フェス 当日の様子(1)

熱気球フェスは、熱気球搭乗体験・ステージパフォーマンス・ブース出店の3つで構成されていました。

■ 熱気球体験搭乗

こちらは、特定非営利活動法人 熱気球運営機構様のご協力により 「東日本大震災 復興支援熱気球イベント in 亘理」として実施致しました。 当日は延べ300名の方に搭乗頂きました。

なお、当日は7時から搭乗開始したのですが、8時前後には雪がちらつき始め、 安全面を考慮しこの時点で熱気球体験搭乗を中止致しました。

1. 気球があがる瞬間



4. 朝6時半の段階での行列



2.5機の気球



5. 気球をあげるときの風景



当日は、下記5団体のご協力により、計5機の気球にご協力頂きました。



• 名取市から津波の中から奇跡的に復活した : いろは号

茨城県百里バルーンクラブ : おがっち • ANAグループ : AMA SHINE DREAM スルガ銀行: Dream Direct号

名取BC「いろは」



ANAグループ「ANA SHINE DREAM」百里バルーンクラブ「おがっち」





3. 気球がすべてあがった瞬間



6. 地球型の気球



スルガ銀行「Dream Direct]



熱気球フェス 当日の様子(2)

■ ステージパフォーマンス

ステージ上では5団体の皆さんにパフォーマンスを披露していただきました。 雪がちらつく中での熱気は本当にすごかったです。

1. 長瀞小学校による「長小ソーラン」



4. プルメリアフラサークル フラダンス「祈りと希望」



2. 道岳館特別好楽隊による 太鼓演奏「特好大太鼓」



5. チムチムサービス カッシー君とママレちゃん



3. 有志による フィナーレのダンス



6. ステージに見入る子供達



■ 気球ブース

気球ブースでは、豚汁やおにぎり等の等のご飯もの、いちご等の土産産品、ウッドクラフトや輪投げ、苗木ポットづくり、絵馬かき等のアクティビティが出店しました。寒かったために、温かい汁物系のブースが大人気でした。

1. 大人気は汁物



4. 絵馬1: はじめて気球にのった感想



2. 将来防潮林となる 苗木のポットづくり



5. 絵馬2: 沿岸部の景色を絵に



3. 復興への想いを「絵馬」に書く子ども達



6. 皆の絵馬がかけられた絵馬かけ



シンポジウムの様子

■ 開催の趣旨:「市民主体の震災復興」の真髄に、参加者の皆さんと迫りたい

東日本大震災では、復興を市民が主体となって進めることができているところもあればなかなかうまくいっていない場所もあります。

そこで、今回各地で復興に取り組む仲間たちが集いわたりグリーンベルトプロジェクトを事例に 市民主体の震災復興を進めるための具体的手法を皆さんと考えられないか?と考え 今回のシンポジウムを企画しました。

■ 当日の流れ:全国から130名近くの方がいらっしゃいました

第1部 10:00 わたりグリーンベルトプロジェクトの紹介

6名の発表:マスタープランができてから私達がやってきたこと

12:00 昼食休憩

第2部 13:00 対話型パネルディスカッション

「わたりグリーンベルトプロジェクトを解剖する」

第3部 14:00 参加者全員での対話

「東北で市民主体の復興を行うために」

16:00 終了

■ 当日の風景

1. 全国から集まった 130名近くの参加者



4.6名の方からの発表: 荒浜小学校の渡辺教諭



7. 参加した亘理高校の生徒



2. 鈴木征治運営委員長 (大畑浜北区長) 開会の挨拶



5. 荒浜小学校で実施した 苗木作り体験の写真



8. 模造紙を活用しながら皆で語り合い



3. 事務局長の松島から わたりグリーンベルトプロジェクトについて



6. 対話型パネルディスカッションの 風景



9. 気仙沼でまちづくりに関わる 東北学院大学講師の千葉先生



ご協賛・ご協力を下さいました 皆様

特別協替 華為技術日本株式会社(ファーウェイ・ジャパン)(東京都)

卒業生有志一同

千葉県

協替 東京都 おしか商店 工房あえり

鳥の海歯科 株式会社 三井住友銀行 渡辺商店

> たかはし建材株式会社 サイボウズ株式会社 石川自動車

全日本空輸株式会社 株式会社 山田屋 かくちょう

フラワーショップ秀 ANAセールス株式会社 つるや

東京農工大学 水環境学研究室 ブロッサム遊花 伊藤建工

有限会社 マルワタクシー せとや

株式会社 ケーヒンワタリ ジョアンナ

社会福祉法人 みづき会 YOSAKU 亘理店 山川果樹園

静岡県 とんかつ小野 横田商店

スルガ銀行株式会社 渡辺工務店 岩佐組

亘理町 有限会社 伊藤生花園 つくしの会

宮城第一信用金庫 亘理支店 ヤマザキショップ 鈴武商店 うた蔵ぶ

みやぎのあられ株式会社

みやぎ生活協同組合 亘理店 山元町 亘理ライオンズクラブ

※順不同

株式会社 丸福山田屋 畑の楽校

物品協賛 明治ホールディングス株式会社(東京都)

寄付 レストラン ア・ニュ ルトゥルヴェ・ヴー(東京都)

積水ハウス株式会社(大阪府)

武田薬品工業株式会社(大阪府)

協力 亘理町柴町行政区(亘理町)

鳥の海ふれあい市場(亘理町)

亘理町吉田東部地区まちづくり協議会(亘理町)

亘理町立長瀞小学校(亘理町)

FMあおぞら(亘理町)

日本たばこ産業株式会社(東京都)

多数の町内外からの企業・団体(48団体)、個人(18名)の皆様から、協賛、協力を頂戴いたしました。 心より御礼申し上げます。

平成24年12月22日 現在

【収入支出項目内訳】熱気球フェス&シンポジウム

平成25年1月21日現在

収入の部

科目	摘要	金額
協賛金収入	町内外からの協賛金	¥5,665,000
寄付金収入	町内外からの寄付金	¥75,000
雑収入	銀行利息 等	¥0
収入の部 合計		¥5,740,000

支出の部

科目	摘要	金額
企画運営費	熱気球運営、ステージ出演料、子供による苗木づくり企画、チラシ・パンフレット・ポスター企画製作印刷 等	¥3,470,840
旅費交通費	東京での打ち合わせのための旅費 交通費(JR、特急料金)、現地移動 (タクシー代)	¥180,680
燃料費	ガソリン代、軽油代	¥187,459
文書通信費	郵送代、送付代(書類の郵送、宅急 便の送付)、コピー代	¥45,423
資材、事務用品費	資材、事務用品費 等	¥841,144
賃貸費	備品レンタル料 等	¥446,627
施設利用料	会場利用料(打ち合わせ、準備)	¥6,650
謝金	シンポジウム講演者への謝金 備品借用先への謝礼 等	¥114,480
保険料	傷害保険料 (スタッフ、ボランティア、熱気球ボラ ンティア)	¥24,500
会議費	事前準備または当日準備のための お弁当代、ケータリング経費 等	¥166,525
雑費	支払手数料、新聞雑誌購入 等	¥515
支出の部 合計		¥5,484,843

7]

2

2



株の様の衛門にある大 田浜出区のX事代版区 談内を含濃に、名取用の 「いろは谷」など全国か 心無ましたの能が物門) た。午春~季のスタート を前に列をなした住民 ら見うりの人が次々と著 鹿。 おこれへの舞り引 だったが、的がほど上昇



宮城・亘理 住民ら気球体験

から探もあった。

眠下には大津炎で大き 「海などきれいな景色を 林の耳生薬を住民自らが く催ついた繊維が正式る、見ることができた。 寒か 考える「わたりグリーン 一大、梅里堪妙の濱田工 ったけと、初めて乗れて プロジェクト」の開知な 事など一歩ずつ強興へ向 ろれしがった」。同小な どを目的に、プロジェク

吉田奈地区の日宅が全 「同りがよく見えて面白 人ふらっと!ほく (自石 職し、心臓性治を纏らす かった」と職種した場子 市)なった主催した。

(あおは) わゃろ(の)は イベントは同型の収慮 年の成毛太一貫(了)も トを遺営する一般社団法

> 代数の設備設定さん (紀)並「藍賊紫岩鹿長り」 としてことの概念性が推論 の私があらってが行く反 えたかった。5年間は蘇 けていまたい」と意味を 届した。

算する個形形が公口、回 市石でオーアンノ、初 日から作業な事業を求め る宣教和しておびした。 単級が対応-000十七 225、投票結核質の表面 操作症息。 医骶腱裂巴悬 際に引導性や収縮やの近

新鮮野菜ずらり

相馬でオープン

東日本大震災の政治議

家らでつくる相談市の対

10法人「野鴨土」が漂

CURRCKA, RUZY



地場の所謂な野宮がなんだ国用所

被災農家が直走。養養にも足を漏化でもらっちのほか、再外の支援。殊事故で道理 おうと、 他県産の野菜も 職家のキャベッやリン されている際 既治するのが特徴。 地帯 ゴ、レモンなりはかんだ。 区の職家らる 野鳴士は、諸葛第一座 に取れ。フリ どの支援が停

の開致にいる 共同代表の 14164012 (53) 職家の復興の SI Attino 社理常期技

H·WIDES。 H 日来か。作品 る。連絡形は 44 (ND)

仙台

愛媛の農協と姉妹協定

復興支援が維交流通し発展図

当白電母兵会は、参議「最近四分を都市した。東「鷹火海武漢郡が衛煙や右」火海風の後日 果今治市の雌類今治(お、日本大震災や残災した組、無性が今後し、交流が拡、い手を取り合 ちいまばり) 義弱と結妹 合真を抜える似白鳥宮の 大した。 魔座物や情報の



交換などを通して組合員 超智令治量は の抑能や私政の発展や図 落和御田朝 り、災害時には互いに形

25000 当台市高端区の仙台 したい」と 職強を否う関格式が行 われ、仙台種母の海野秀 くの根合真的 復掛合成れ、 超額を形成 母の田辰素編書馬が初 孙顺行那的"万代"。 雪红霞 題(行分) 200季1の 生産を誇る中治の女才

いなどの記念品を交換し 110 高野遊台長は「まな」編 らか簡単する

SHUSIA 「猫」となる。

質があるだっ

300000

H

和計畫 主

着から

久、秋田県庁本庁舎と秋田 は日常の冷暖房用にも使 電光統令と進化する確定す 地方総合下令、職会機の3 っており、減っていた。 燃 算業を提出。大規模災害時 種が強電した。原因は、更、科タンクの点核を控えて、の対応を定める機能解析 電鍵と電性を結ぶ地中ケー おり、補充しなかったとい 面は、来年度中に領定する プルの地様不良。 常日した ろ のは江口子後の海、約22時 原物がした。

3月3日午前2時分かり 保行だ、東行よから、終終 ために多種雑を重数して多

の大手競も回対した。

毎職国後、以東江白武弘 ケーアラダ森の木のの部 する。 門頭など予慮なたい 電圧切り替わった。本庁舎 品を真内で間違できず、彼 きたい」と話した。

秋田甘い 危機管理 あぜん

にして約2時間かれ、

せっかくの発露機も、曾 というお理末ふりだ。 段から無料が十分補充さ、今回の体験を受け、果は れていなければ宝の持ち い月頃合に、リスク分散の

にある日家和護療は、総科 旧まで時間がかかった。ケ の趣油の最大容量がら方は、トプルを保護するコンクリ た東日本大震災から何を で、いけ間発達できる。レート管は姿勢化として破損し、学人だのだろう。危機管理 かし、浄寒当時、発露機に ており、「当核、(御指数 体制を木気で考えるべき 順用は行うくりのはしか人 で吸着しにくい) フレキシ だ っていなかった。独議時間 ブル管になっていると思う ていた」(生は数く知事)

98

98

2.28(2.28)

方針を決めた。

この非常時の対応で、県 住行和事は同議会で、「即 点で多なかったことには同様

> 原生は8%難時に乗の中枢 機能が果たらなければなら なる。 柴田維育額重が載し

> > (英田原恵・名種調査)



本社からの内様ならっ

会社の概括で刊めれ 本部なの山口が発展は十 後間です」と言ったさ 女屋ものなりいフンド 遅れてしまう。本社の

山形 名乗

2년(4) 「公司法律(2년 4) やれてしまう。 躍かび やの他乗しれたが側 スペーズになるし、個 名震計つこ。

衆記録の収存中、地 営の若い男性とよく つれ。 位蓋和になり かりの哲智で、選挙 い日の名は日のより



時気球に乗って腹下に広がる境災地を眺める子どもたち

16.21 88 88 37 あすの暦 81 28 87 86 33 五世 五 R 18.00 公司部の日本の日本公 原設

0175 (2 019 (624) 019 (653) 176 8 (99) 8 12 警石 0193 (7 0178 0197 0193 1610 017 國馬 温機

憩いの防潮林 育てよう

2度目の公 被災地から

い上がった。1回5分程度 せた熱気球5機が次々と舞 岸沿いに、子どもたちを乗 今月22日朝、亘理町の海

から被災状況を見てもらっ の空の旅だが、改めて上空 つて、町の基幹産業である一の配達や、首都圏などから て復興を考えるイベント。 音人が集まった場所はか 亘理町を中心に、支援物質 を企画する島根県の会社に 就職したが、震災後は故郷 に戻り、被害の大きかった 近い宮城県白石市出身。 松島さんは亘理町にほど 街づくりなど

ツなどの防潮林が並んでい ス群が立ち、海風を防ぐマ 宏佑さん(26)は戻ってきた らっと一ほく」代表の松島 子どもに話しかける。 主催した一般社団法人「ふ 色だけが広がる。 片づけられ、荒涼とした景 上から何か見えた?」。 しかし今は、がれきも 将来への漠然とした不安。 動などに取り組む。 が再建されただけでは人口 ているが、公共施設や住宅 部に移転させる計画を進め あった約550世帯を内陸 ていた。町は今、沿岸部に 亘理町は被災前から人口流

少子高齢化に悩まされ

取り組み、町長への提案も行

が、宮城県亘理町では、住民 れている。多くは行政主導が 復興事業が急ピッチで進めら

目らが町の再生計画づくりに

った。町もこのプランを復興

と生かしていく方針だ。

(石川剛)

は、街の再建や津波対策など

年越しを迎える被災地で

おいで」と呼びかけた。 どもに「今度はもう少し暖 かい時期にやるから、また い息を弾ませながら話す子 速くまで見えた」。

災地でも年越しの準備が進んでい

年の瀬を迎え、東日本大震災の被

復興願い新年準備

らず奔走する。

住民ら、町に再生案 のポランティア受け入れ活 そこで感じたのは、 防潮林。地元では なる恐れがある。 くりが不可欠だ 愛着を持てるような計画づ 目を付けたのが沿岸部の

た畑のあった沿岸部一帯を かしてイチゴが作られてい や、水はけの良い土壌を生 で根こそ言流失した防潮林 考えてくれるはず」。津波 再生案なら、住民が一緒に のシンボルである防潮林の の遊び場」として親しまれ、 民の思い入れは深い。 と話す男性もいるなど、住 「わたりグリーンベルト」 あの林でプロポーズした 子ども 町

「住民が と名付け、その再生方法を 検討するプロジェクトを今 年4月に発足させた。

リなどを拾い集め、植え直 6時間、計5回の会議を開 60人の住民とともに、1回 す苗木も育てている。 中学生から70歳代までの約 いた。町内の森からドング 呼びかけに応じてくれ

民だけでなく、町を訪ねて 住民意見を最大限取り入 や観光農園を設けるなど、 計画は、サイクリング道路 今年9月にまとめた基本 町に提案した。地元住 全国自治宝くじ

苗木の育成などを体験して もらって交流人口を確保 につなげたい考えだ。 気球に乗った子どもた 特産品の売り上げなど

れれば」。そんな夢を抱

ながら、年末も実家には

ちが成人式を迎える頃

しい松並木を見せてある

始せん相乗は至くじ会式サイト及び、 テレフォンサービスにて、ご確康ください。 全くじ会式サイト: http://www.takarakuji-official.jp/ テレフォンサービス:0570-029292

が減り、町は立ちゆかなく くれたポランティアらにも

が降る中、各地の仮設住宅に住む氏

総代約20人が集まり、鳥居のしめ

地区にある厳島神社では30日、小雨

んどが壊滅した岩手県釜石市両石

津波で約~~~戸あった集落のほ

す厳島神社の島居に、新しいし 岩手鼎脈石市面石地区を見下ろ

男子主走が逮捕されたとい

10分頃、香(22)運転の乗用車が衝突。 - を運転していた少年を自助 有で定員8人。乗ってい 町、真鍋篤史さん(17)。 柳原隆さん(18)、同市 (18)、同県舊通寺市仙遊 ワゴン車は少年の家

年かかるか分からないが、散り散り

総代長の沢口介洋さん(1)は「何

迎える準備を整えた。

するなど、一時間ほどかけて新年を 縄を交換、周辺の枯れ葉などを掃除

前のような集落になるのが一番の願

になった住民がまた元に戻って、以

にけとなった同地区を見つめた。 いだね」と話し、眼下に広がる土台

森になるかな」 を植えれば将来はここが く高いよ」「みんなで木 海が見えるー、すご

望の持てる未来のはず。 思い出ばかりではなく希 ど…。でも、これからの亘 美しかった昔の松林やイ 巡らせたことでしょう。 ずつに分かれて気球の上 りました=写真。三百人 熱気球が空高く舞い上が 畑浜野球場付近で五機の 朝七時、宮城県亘理町大十二月二十二日土曜日 理に必要なのは、過去の チゴの実った畑の風景な から津波で流された地区 ほどの親子連れは、数人 を眺め、いろんな思いを

クレアン社長 薗田綾子さん い」。そう強く願う約五十

クト」。世代も年齢も職業 グリーンベルトプロジェ となってできた「わたり への町の人たちが発起人 ワークショップを合計五 四きの復興を防潮林中心 回開催してきました。 鳥の海以南の沿岸部約

にかけて六時間を超える

20

る人たちと「市民主体の クトのことを知ってほし 民の方に、このプロジェ 合いたい、そんな思いが 震災復興」について語り い、復興地で頑張ってい た。ひとりでも多くの町 空から町づくり探る

結集して気球フェスティ

う場所として復興させた 二〇一二年六月から九月 うまちづくり案の基本構 したい」「沿岸部を人が集 もバラバラな人たちが、 に住民が主体で行うとい 想書(グランドデザイン) を策定して、九月に三理 験には企業関係者も参画 様な樹種の苗木づくり体 町長に提出しました。多 などもスタートしまし 地再生を目指した新規農 しています。沿岸部の農 業法人設立プロジェクト ョンは確実に広がってい 町田耕造さんはじめ多く ます。 の森と町づくりへのビジ ちろん私たちJKSKも 共感してくれました。も 宏佑さんや加藤登さんに の方々が、発起人の松島 たが、熱気球運営機構の らめかけたイベントでし ウもない…。一度はあき 応援団の一員です。未来 バルが実現しました。 資金もないし、ノウハ

興に取り組む「結結プ NPO法人「女子教育 得て、掲載しています ロジェクト」の協力を 女性たちが協力して復 奨励会」と、被災地の この連載は、東京の



亘理町のために何か